

GXP2130(Grandstream 社製 IP 電話機)
Live Window での利用マニュアル

ご注意

- 本製品の仕様は、性能向上のため事前に予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアルに掲載されていない機能は、LiveWindow でご使用いただけない場合がございます。
- マニュアル内のイメージは、実際の製品のイメージとは多少異なる場合があります。
- 本書の無断転載を禁じます。
- ご不明な点などございましたら、サポート窓口までお問い合わせください。

目次

1. 操作に使用するボタンとその機能	2
2. 操作に使用するボタンとその機能 (その2)	4
3. 発信	6
[内線を発信する]	6
[外線を発信する]	7
[発信元番号を指定して外線から発信する]	8
[再ダイヤル]	9
[短縮番号で発信する]	10
4. 着信をとる	11
5. パーク保留	12
[通話をパーク保留する]	12
[内線のパーク保留をとる]	13
[外線のパーク保留をとる]	14
6. 音量の調整	15
[着信音量を調整する]	15
[受話音量を調整する]	15
[マイクミュート]	16
7. その他の操作	17
[通話を内線へ転送する (通話中転送)]	17
[発着信履歴の確認・発信]	18
[不在着信の確認・発信]	20
[内線3者通話を行う]	21

基本的な操作

1. 操作に使用するボタンとその機能

操作に使用するボタンについて説明します。

※ここで説明していないボタンについては、LiveWindow では使用しません。



- ①ディスプレイ操作ボタンです。ディスプレイ下部に表示される動作を行うボタンです。ボタンの直上に表示されている機能を実行します。左端のボタンで一つ前の操作、元の画面に戻ることができます。
- ②音量調整ボタンです。着信時の音量や受話音量の調整に使用します。
- ③スピーカーフォン切替ボタンです。スピーカーフォンの切り替えを行います。
- ④発信ボタンです。待機状態の時は再ダイヤル。ダイヤル後に押しと発信を行います。
- ⑤十字ボタンです。中央は決定ボタンです。ディスプレイ内容のスクロールや決定に使用します。また、メニューの呼び出しを行う際に使用します。

- ⑥自己保留ボタンです。端末側で保留します。このボタンで保留した場合、パーク保留とは違い、他の人が出ることはできません。
- ⑦通話転送ボタンです。通話中にこのボタンを押してから、転送先の内線番号を入力後、再度このボタンを押すと通話が転送されます。転送された時点ですぐに端末との通話は切れます。
- ⑧3者通話ボタンです。3者通話を行う際に使用します。
- ⑨マイクミュートボタンです。マイクミュートを切り替えます。
- ⑩ダイヤルボタンです。
- ⑪プログラマブルキーボタンです。LiveWindowの設定により、操作が異なります。

着信ボタンとして割り当てられている場合、以下の状態を表示します。

赤 点滅：着信中

緑 点灯：通話中

緑 点滅：自己保留中 ※点滅しているボタンを押すことで保留を解除することができます。

ランプ消灯：待機中

ラインと対応してボタンが割り当てられている場合、以下の状態を表示します。

緑 点灯：待機中

赤 点灯：着信中、通話中

赤 点滅：パーク保留中

パーク保留中のボタンを押すことで、パーク保留をとることができます。

パーク保留ボタンとして割り当てられている場合は、通話中にそのボタンを押すことで、使用しているラインにパーク保留されます。

2. 操作に使用するボタンとその機能（その2）

プログラマブルキーボタンについては、LiveWindow の設定によって使用方法が異なります。
ここでは、一般的なの設定内容に従って、プログラマブルキーボタンについて説明させていただきます。



①着信ボタン1です。電話機の着信を表示します。

②着信ボタン2です。①が使用中の場合に電話機の着信を表示します。以下の状態になります。

赤 点滅：着信中

緑 点灯：通話中

緑 点滅：自己保留中 ※点滅しているボタンを押すことで保留を解除することができます。

ランプ消灯：待機中

※①②に同時に着信した場合、対応したいボタンを押してから受話器を上げることでその通話に対応することができます。

- ③パーク保留ボタンです。通話をパーク保留します。常に赤く点灯します。
- ④外線ライン 1 に対応したボタンです。
- ⑤外線ライン 2 に対応したボタンです。
- ⑥外線ライン 3 に対応したボタンです。
- ⑦外線ライン 4 に対応したボタンです。
- ⑧外線ライン 5 に対応したボタンです。
- ⑨外線ライン 6 に対応したボタンです。
- ⑩外線ライン 7 に対応したボタンです。
- ⑫内線ラインに対応したボタンです。

※④～⑫までの状態表示は以下の通りです。

緑 点灯：待機中

赤 点灯：通話中、着信中

赤 点滅：パーク保留中

点滅しているボタンを押すことで、その通話を取ることができます。

3. 発信

[内線を発信する]

受話器を置いたまま、ダイヤルボタンを使用して、内線番号を入力します。



発信ボタンを押すと発信を行います。受話器を取り上げて、通話してください。

※内線番号入力後、受話器を上げることでも発信できます。

※受話器を上げて、内線番号を入力し、3秒待つことでも発信されます。



[外線を発信する]



ダイヤルボタンを使用して、電話番号を入力します。



発信ボタンを押すと発信を行います。受話器を取り上げて、相手が出たら通話してください。

※電話番号入力後、受話器を上げることでも発信できます。

※受話器を上げて、電話番号を入力し、3秒待つことでも発信されます。

ラインは、外線ライン1から順番に空いているものを使用して発信します。本操作で発信した場合、発信元番号は、LiveWindowで設定しているものとなります。

[発信元番号を指定して外線から発信する]



電話番号を入力する際に頭に " * " と利用する外線ラインの番号を 2 桁で入力します。赤く点灯する外線ラインボタンが違うのをご確認ください。

例

ライン 3 を指定して、177 に発信発信する場合

ダイヤル内容 * 03177

LiveWindow でラインに電話番号が割り当てられている場合、発信元番号がラインに割り当てられている電話番号になります。

LiveWindow に発信元番号が複数設定されている場合、" # " に続けて、発信元番号の下 2 桁を入力し、続けて電話番号をダイヤルすることで、発信元番号を指定することもできます。

例

03-XXXX-5581 を発信もとにして、177 に発信発信する場合

ダイヤル内容 #81177

※先頭の記号は設定によって異なります。

事前に LiveWindow の設定をご確認ください。

[再ダイヤル]



ディスプレイ操作ボタンの「再ダイヤル」に対応するボタンを押すことで、前回発信した番号に再ダイヤルします。

※発信ボタンを押すことでも再ダイヤルできます。

[短縮番号から発信する]



LiveWindow に登録されている短縮番号を入力して、発信することができます。

ダイヤルボタンから短縮番号を入力し、発信ボタンを押すことで発信されます。

※短縮番号入力後、受話器を上げることでも発信できます。

※受話器を上げて、短縮番号を入力し、3 秒待つことでも発信されます。

4. 着信をとる



着信するとディスプレイに着信先番号が表示されます。

電話機の着信ボタンが赤く点滅します。

また、対応するラインボタンが赤く点灯します。

この状態で受話器を上げることで電話に出ることができます。

複数の着信ボタンが点滅している場合、出たい着信ボタンを押してから受話器を上げることでその着信をとることができます。

5. パーク保留

[通話をパーク保留する]

パーク保留ボタン



通話中にパーク保留が割り当てられているプログラマブルキーボタンを押すと、着信したラインにパーク保留されます。



パーク保留中のラインボタンは、赤く点滅します。

※他の人にパーク保留をとってもらいたい場合は、この状態で内線を発信して通話するなどしてライン番号を伝え、パーク保留があることをお知らせしてください。

[内線のパーク保留をとる]



内線のパーク保留がある場合は、内線ラインが割り当てられたプログラマブルキーボタンが赤く点滅します。

受話器を上げた状態で、内線ラインボタンを押していただくことで、パーク保留をとることができます。

[外線のパーク保留をとる]



外線のパーク保留がある場合は、外線ラインが割り当てられたプログラマブルキーボタンが赤く点滅します。

受話器を上げた状態で、点滅しているラインボタンを押していただくことで、パーク保留をとることができます。

6. 音量の調節

[着信音量を調節する]

着信待機状態で音量調節ボタンを押すことで着信音の音量を調整することができます。



[受話音量を調節する]

通話状態、受話器を上げた状態で、音量調節ボタンを押すことで受話音量を調整することができます。

スピーカフォンをオンにした状態で操作すると、スピーカ音量を調整することができます。





[マイクミュート]

通話中にマイクミュートボタンを押すことでマイクミュートを行うことができます。マイクミュートはディスプレイ上部に表示されます。再度押すことで解除することができます。

7. その他の操作

[通話を内線に転送する (通話中転送)]



通話中に通話転送ボタンを押してから、内線番号を入力することでその通話を転送することができます。

代表番号に、FAX がかかってきてしまった場合などにご利用下さい。

通話転送ボタンを押します。



内線番号を入力してから発信ボタンを押すと転送されます。

[通話履歴の確認・発信]

十字ボタンの中央、決定ボタンを押すと全体メニューが表示されます。

通話履歴にカーソルを合わせて、決定ボタンを押します。



「Local Call Log」にカーソルを合わせて決定ボタンを押すと通話履歴が表示されます。



十字ボタンの左右で、受信履歴のみや発信履歴のみに切り替えることができます。

十字ボタンの上下で通話履歴を選択します。「発信」に対応したディスプレイ操作ボタンを押すことでその番号に発信します。

削除……選択した1件を削除します。

全削除……全て削除します。

※決定ボタンを押すことで通話履歴の詳細を表示させることができます。

この状態から発信することもできます。



元の画面に戻る場合は、ディスプレイ操作ボタンの左端のボタンを数回押してください。



[不在着信の確認・発信]



ディスプレイ操作ボタンの「不在着信」に対応したボタンを押すことで、不在着信の一覧が表示されます。



十字ボタンの上下でスクロールすることができます。

ディスプレイ操作ボタンの「発信」に対応したボタンを押すことで発信することができます。

削除……選択した1件を削除します。

全削除……全て削除します。

元の画面に戻る場合は、ディスプレイ操作ボタンの左端のボタンを数回押してください。

[内線3者通話を行う]

3者通話ボタンを押すと3者通話を行うことができます。



内線通話中に3者通話ボタンを押すと、一旦保留されます。

通話に参加させたい内線番号を入力して、発信ボタンを押してください。



内線に相手に対応したのを確認したら、「会議再開」に対応するディスプレイ操作ボタンを押します。

※相手に対応しなかった場合は、電話を切つてから、緑色に点滅している着信ボタンを押すことで保留になっていた通話に復帰することができます。



3者通話中は、左の画像のような状態になります。

※ 3者通話を開始した端末で電話を切るとすべての通話が終了されます。